

千葉県立市川昂高等学校

平成 25 年度グローバル人材プロジェクト「海外理解促進のための交流会」

期 日：平成 25 年 8 月 2 日

千葉県立市川昂高等学校は、ユネスコスクールとして、異文化理解教育や人権教育などをおして、持続可能な社会を築く未来の人材に必要な価値観をはぐくみ、生徒の自発的・実践的な学習の促進に取り組んでいます。このたび、カリフォルニア州ガーデナ市の高校生を迎え、部活動見学、日本文化体験などを行う、生徒間の交流会を実施しました。

第 1 部 午後 2 時～3 時 10 分 (体育館)

* 合唱部、ダンス同好会、吹奏楽部による歓迎発表

* ガーデナ市高校生によるパフォーマンス

総勢 140 名近くの本校生徒が、演奏や発表をガーデナ市の高校生や引率、関係者等の前で披露した。ガーデナ市高校生は、食い入るようにパフォーマンスを見ていた。

第 2 部 午後 3 時 30 分～4 時 30 分 (図書室及び作法室)

* ガーデナ市高校生と本校生徒会役員との交流会

* 茶道部による日本文化体験

本校 PTA のユネスコ委員の協力で、ガーデナ市高校生に浴衣を着てもらい、そのままの姿で生徒会役員との交流会を行った。子どもの頃の遊び「花いちもんめ」を一緒に手をつなぎながら体験した。最後に、茶道部の生徒の指示を受けながら、作法室で「茶道」を体験した。



《生徒の感想》

最初はとても不安でとても緊張しました。自分の英語で話を通じるか、不安ながらも勇気を出して “May I help you?” と話しかけると、すぐさま “No problem. Thank you.” という言葉が返ってきて、聞き取れました。その一言で一層勇気がわいてきました。次回はもっと英語を勉強し、英語で話す機会を増やしたいです。

カリフォルニアの方々とお話ができてすごく楽しかったです。文化や言語などの違いはありましたが、そういうことを忘れるくらいお互いが親しくなったと思います。みんなに楽しんでもらえ、思い出として残っていると思います。お互いに話す時間は少なかったですが、自分たちとしては最高のおもてなしができたと思います。昔ながらの子どもの遊びである「花いちもんめ」で、楽しく打ち解けることができました。私は得意とするスペイン語で会話することができましたが、英語の力をもっとつけて世界の人々とふれあいたいです。

最初は、外国の人達と関わることはとても不安で、英語があまり話せずに会話をして、仲良くなれるか自信がなかったけれど、カリフォルニアの高校生から話しかけてくれて、少しずつコミュニケーションがとれ、記念写真を一緒に撮ることができました。いつかまた会えることができれば、その時は英語がスラスラ話せるように勉強に励みたいです。